

| | | | | | | | | | |
|-------------------------------|-------------------------|----------------------------|--|---------------------|-------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 事業番号 | 09 03 01 | 事業改善シート（令和4年度実施事業分） | | | | <input type="checkbox"/> 当初要求 | <input type="checkbox"/> 当初予算案 | <input type="checkbox"/> 補正予算案 | <input checked="" type="checkbox"/> 点検 |
| 事業名 | 需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業 | | | 部局 | 農政部 | 課・室 | 農業技術課 | | |
| | | | | 実施期間 | S53 ～ | E-mail | nogi@pref.nagano.lg.jp | | |
| 総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係 | | | | | | | | | |
| 重点目標 | ①労働生産性 | | | | | | | | |
| 総合的に展開する重点政策 | 2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 | | | 2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成 | | | 2-2 地域内経済循環の促進 | | |
| | 3-7 先端技術の積極的な活用・導入 | | | | | | | | |

1 現状と課題

- ・米・麦・大豆・そば等の土地利用型作物については、営農継続可能な価格の維持・向上に向け、需要に応じた生産や品質の確保・向上が求められていることから、生産者団体等関係機関と連携し、実需者ニーズを踏まえた産地づくりを進めることが必要。
- ・主要農作物の種子については、安定的な種子供給体制の構築が求められていることから、「長野県主要農作物種子生産ビジョン」に沿った種子生産技術の向上と、施設整備支援が必要。

2 事業目的

米については、需要に応じた米の適正生産が行われ所得の確保が図られるよう、長野県産米の強みである高品質の維持や輸出用米の取組拡大等の新たな需要創出が図られるようにする。麦・大豆・そばについても、国内需要の高まりに対応できるよう、安定生産と品質向上による産地づくりが進むようにする。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①主要農作物の戦略的な生産拡大・ブランド確立の推進
- ・水稲「風さやか」の品質向上やブランド化を図るため、PRイベントや食味コンテストの開催
 - ・麦、大豆における実需者ニーズに即したオリジナル品種の推進やそれを契機とした産地力強化を図るため、研修会等を実施
- ②主要農作物の種子生産者に対する支援等
- ・種子の安定生産を図るため、種子生産者が策定した「種子場産地強化計画」に基づく、後継者の確保・育成及び機械施設の改修により種子生産体制を整備
- ③トヨタ式カイゼン手法の導入による農業分野における経営改善の支援
- ・農業経営体への指導体制の強化を図るため、カイゼン手法を習得する普及指導員を養成
- ④水田農業の体質強化の支援
- ・主食用米需要の減少化においても稼げる産地づくりを推進するため、水田を活用し、需要の見込める品目の導入・拡大を支援
 - ・主食用米の在庫量増大による需給緩和を解消するため、緊急的に飼料用米へ転換する取組を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

| No. | 指標名 | 単位 | R2年度 | | R3年度 | | R4年度 | | R4年度目標値 | 達成状況 | 設定理由 |
|-----|------------------------|-----|--------|--------|------|--------|------|--------|---------|---|------|
| | | | 実績 | 実績 | 推移 | 実績 | 推移 | | | | |
| ① | 実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積 | ha | 2,777 | 3,003 | ↗ | 3,088 | ↗ | 3,370 | 未達成 | 県オリジナル品種（米・麦・大豆・そば）の普及・拡大状況を評価するための指標として設定。R4年度は前年比10%増を目標とした。 | |
| ② | 米の1等米比率の全国順位 | 位 | 2 | 2 | → | 2 | → | 1 | 未達成 | 本県において、品質の高い米生産が行われていることを評価するための指標として設定。R4年度は、全国1位奪還を達成目標とした。 | |
| ③ | 水田への高収益作物などの作付面積 | ha | 10,594 | 10,942 | ↗ | 11,506 | ↗ | 11,977 | 未達成 | 主食用米の計画生産と需要を踏まえた水田への高収益作物の作付誘導により、水田利活用状況を評価するための指標として設定し、R4年度は、生産数量目安値を考慮し11,977haと目標とした。 | |
| ④ | 5ha以上の効率的な水田農業経営体数 | 経営体 | 719 | 734 | ↗ | 756 | ↗ | 800 | 未達成 | 本県の水田農業を担う効率的な水田農業経営を行う経営体の育成状況について評価するための指標として設定。R4年度は、800経営体数を目標とした。 | |


5 事業コスト

（単位：千円、人）

| 区分 | 予算額 | | | | | 決算額 | 職員数 |
|------|-----------|-----------|-----------|--------------|--------|---------|-----|
| | 前年度繰越 | 当初予算 | 補正予算等 | 合計 (予算現額) | | | |
| R4年度 | 1,320,828 | 1,251,176 | △ 274,969 | 2,297,035 | 29,500 | 593,133 | 6.0 |
| R3年度 | 0 | 1,004,087 | 971,617 | 1,975,704 | 36,625 | 341,368 | 7.0 |
| R2年度 | 0 | 430,944 | △ 148,132 | 282,812 | 38,229 | 272,738 | 7.0 |

| | | | | | | |
|------|-------------------------|---------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 事業番号 | 09 03 01 | 事業改善シート（令和4年度実施事業分） | <input type="checkbox"/> 当初要求 | <input type="checkbox"/> 当初予算案 | <input type="checkbox"/> 補正予算案 | <input checked="" type="checkbox"/> 点検 |
| 事業名 | 需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業 | | 部局 | 農政部 | 課・室 | 農業技術課 |

6 主な取組実績と成果

| | |
|---|---|
| <p>①主要農作物の戦略的な生産拡大・ブランド確立の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稲「風さやか」のモデル実証ほ（3箇所）を設置して品質向上対策を推進。 ・11月に「風さやか」食味コンテストを開催し、受賞者にテレビ番組やYouTubeに出演いただくなどのPRを実施。 ・小麦や大豆の新品種についての農業者向けチラシを作成、配布。また、JA技術員及び普及指導員を対象とした麦・大豆・そば生産拡大・品質向上研修会を開催（大豆・そば生産拡大・品質向上研修会1回、地区別麦作検討会2回・延べ119名）。県オリジナル品種（米・麦・そば・大豆）の作付面積が前年度から3%増加した（R3;3,003ha、R4;3,088ha）。 |  |
| <p>②主要農作物の種子生産者に対する支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種子生産の体制整備を図るため、種子生産者組織に対して「種子場産地強化計画」の作成を支援（26産地計画）。 ・種子産地の維持・効率化を図るため、将来を担う種子生産者支援事業等により、水稲種子専用コンバインや大豆種子色彩選別機等の導入を支援（2か所）。 | |
| <p>③トヨタ式カイゼン手法の導入による農業分野における経営改善の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及指導員がカイゼン手法を現場で活かせるよう研修を開催（座学5回・演習3回・報告会2回・10名受講）するとともに、農業農村支援センター内にカイゼンチームを設置し、経営体を支援。 ・大型水田経営体を対象にカイゼン塾を開催し、生産工程や労務管理などの改善に向けた取組を支援（3回・参加者14名） | |
| <p>④水田農業の体質強化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主食用米の需要減少化においても水田を活用した産地づくりを推進するため、水田農業経営確立推進指導事業等により、需要の見込める品目の導入・拡大を支援。 ・これにより、飼料用米の作付面積は前年度から約40%（R3：362ha⇒R4：512ha）、新市場開拓に向けた、輸出用米の作付面積は前年度から10%増加した（R3：158ha⇒R4：173ha）。 | |

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

| | | | | | | |
|--|--------|---|--------|---|------|-----|
| 指標① 実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積 | R3年度推移 | ↗ | R4年度推移 | ↗ | 達成状況 | 未達成 |
| 作付面積は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、米、そばの需要量の落ち込みが大きく、目標値には届かなかった。 | | | | | | |
| 指標② 米の1等米比率の全国順位 | R3年度推移 | → | R4年度推移 | → | 達成状況 | 未達成 |
| 本県の令和4年度産の水稲うるち玄米の1等米比率（R5年3月末現在）は96.6%で2位、1位の96.8%の岩手県とは僅差であった。 | | | | | | |
| 指標③ 水田への高収益作物などの作付面積 | R3年度推移 | ↗ | R4年度推移 | ↗ | 達成状況 | 未達成 |
| JAグループを挙げた飼料用米の取り組み強化等により、直近5年間では最大の作付転換面積となったものの、目標の作付面積には届かなかった。 | | | | | | |
| 指標④ 5ha以上の効率的な水田農業経営体数 | R3年度推移 | ↗ | R4年度推移 | ↗ | 達成状況 | 未達成 |
| 大規模稲作経営体への農地の集積・集約化が進んだものの、5ha以上の大規模経営体数は、R2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響による米の需要量の低下等から規模拡大をためらう農業者が多く、達成率は94%と、目標達成にはわずかに届かなかった。 | | | | | | |

8 今後の事業の方向性

| |
|---|
| <p>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活様式がコロナ前に戻りつつあるが、人口減少・食の多様化による主食用米の需要の減少が続いている。 ・麦、大豆、そばについて、実需から求められる質、量に達していない。特にパン用小麦の品質・需要量のミスマッチが続いている。 ・主要農作物の種子産地では、後継者の確保・育成と施設の老朽化が進んでいる。 ・水田農業の高収益化においては、水田担当のみならず、園芸担当、基盤整備担当等が一体となった推進体制が必要。 |
| <p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産米の強みである高品質を維持するとともに、エビデンスに基づく販路拡大によりシェアを確保する。また新たな需要創出のため、米の輸出を推進する。 ・麦、大豆の品種転換を契機とし、基本技術の再徹底による品質向上を図るとともに、米の需給調整と食糧安全保障の両面から、増産を推進する。 ・「長野県主要農作物種子生産ビジョン」に基づき、「種子場産地強化計画」の策定を進め、技術継承や施設更新について計画的な支援を行う。 ・園芸畜産課、農地整備課と連携した推進体制を構築し、各地域において高収益作物導入に意欲のある農業者について技術的・経営的な伴走支援を実施する。 |

| | | | | | |
|-----|-------------------------|----|-----|-----|-------|
| 事業名 | 需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業 | 部局 | 農政部 | 課・室 | 農業技術課 |
|-----|-------------------------|----|-----|-----|-------|

| 細事業 No. | 細事業名 | | R2年度 決算額 | R3年度 決算額 | R4年度 決算額 |
|---------|----------------------------|------|---|--------------|---------------|
| 1 | 多様なニーズに対応する穀物生産振興事業 | | 13,986 千円 | 90,156 千円 | 283,643 千円 |
| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） | | |
| 1 | 穀物生産振興施設等の整備に対する支援 | 補助金 | ・農業収益力強化のための機械導入に補助金を支給 ・麦及び大豆産地に対して、団地化の推進や生産性向上を図る新規技術・機械導入に補助金を支給 補助件数8件、整備箇所数1箇所、支給額283,252千円 | | |
| 2 | 水稻及び麦・大豆・そばの生産振興 | 直接 | ・需要的確に対応した米・麦・大豆・そばの生産振興方針の策定 ・生産体制を強化するための技術研修会等の開催 研修会5回（米1、麦1、大豆・そば1、総合1、雑草対策1） | | |
| 3 | 農産物の検査業務 | 直接 | ・農産物検査制度に基づく、検査機関の登録審査及び立入検査の実施 登録更新11件、立入調査12機関 | | |

| 細事業 No. | 細事業名 | | R2年度 決算額 | R3年度 決算額 | R4年度 決算額 |
|---------|-------------------|------|--|--------------|--------------|
| 2 | 種子対策事業 | | 14,048 千円 | 14,074 千円 | 14,595 千円 |
| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） | | |
| 1 | 主要農作物の種子生産者に対する支援 | 補助金 | ・種子生産者が策定した「種子場産地強化計画」に基づく、後継者の育成及び機械施設の改修による種子生産体制の整備に補助金を支給 大豆種子産地の機械整備2か所、支給額2,428千円 | | |
| 2 | 奨励品種決定調査 | 直接 | ・原原種及び原種の採種ほ場の設置 ・奨励品種決定調査の実施 奨励品種決定審査ほ場の設置21か所（米10、麦、4、大豆4、そば3） | | |
| 3 | 原種センターへの支援 | 補助金 | ・主要農作物種子（米、麦、大豆、そば）の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄のため原種センターに対し、補助金を支給 支給額11,119千円 | | |

| 細事業 No. | 細事業名 | | R2年度 決算額 | R3年度 決算額 | R4年度 決算額 |
|---------|----------------------|------|--|---------------|---------------|
| 3 | 経営所得安定対策等推進事業 | | 232,779 千円 | 225,022 千円 | 283,914 千円 |
| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） | | |
| 1 | 制度への加入促進及び事業推進 | 補助金 | ・需要に応じた米等の生産を振興するため、農業再生協議会等に対し事業推進に係る補助金を支給 補助金交付60箇所、支給額283,914千円 | | |

| 細事業 No. | 細事業名 | R2年度 決算額 | R3年度 決算額 | R4年度 決算額 |
|---------|----------------------|-------------|--|-------------|
| 4 | 主要穀類戦略的産地育成・普及拡大支援事業 | 2,524 千円 | 3,492 千円 | 3,467 千円 |
| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） | |
| 1 | 県オリジナル品種（米）の普及促進 | 補助金 直接 | <ul style="list-style-type: none"> ・「風さやか」の生産拡大・ブランド化を図るため「風さやか」推進協議会に補助金を支給 ・県オリジナル米「風さやか」の品質向上を図るためモデル実証ほを設置 | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・支給額2,000千円 ・「風さやか」食味コンテストの開催、テレビCM（123本）やテレビ番組の特集（2回）等 ・「風さやか」モデル実証ほ（3か所） ・「風さやか」生産面積1,711ha(R4) | |
| 2 | 小麦、大豆の産地育成の推進 | 直接 | <ul style="list-style-type: none"> 小麦、大豆の新品種の生産拡大・品質向上等を図るため、品種転換等の取組を支援 | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・単収向上の実証重点地区10か所（小麦5、大豆3） ・小麦「東山55号（しろゆたか）」「東山53号（ハナチカラ）」及び大豆「東山231号（すずみのり）」の農業者向けチラシを作成、配布 ・加工適性等の実需者評価を実施（小麦2品種、1回） ・品種転換を契機にした排水対策技術導入等による産地力強化（7産地） | |
| 3 | 「信州ひすいそば」の産地化プロジェクト | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> 信州ひすいそばの生産拡大・品質向上を図るためそば生産組合に補助金を支給 | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大、地域ブランド化に取り組む地域の産地化支援（1か所）、支給額39千円 ・そば長野S11号（信州ひすいそば）の生産面積77ha（R4） | |

| 細事業 No. | 細事業名 | R2年度 決算額 | R3年度 決算額 | R4年度 決算額 |
|---------|-----------------------------|-------------|--|-------------|
| 5 | 農業経営カイゼン導入促進事業 | 2,173 千円 | 1,652 千円 | 1,930 千円 |
| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） | |
| 1 | カイゼン手法を導入する農業経営体の育成と指導体制の強化 | 委託 | <ul style="list-style-type: none"> カイゼン手法を活かした普及活動の展開するため、トヨタ自動車株式会社に農業経営カイゼン指導業務を委託 | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・カイゼン手法の累計経営体支援数50経営体 ・大型水田農業経営体を対象としたカイゼン塾の開催（全3回・14名受講） ・カイゼン手法を習得する普及指導員の養成（研修会10回、10名受講） | |

| 細事業 No. | 細事業名 | R2年度 決算額 | R3年度 決算額 | R4年度 決算額 |
|---------|----------------|-------------|--|-------------|
| 6 | 水田農業経営確立推進指導事業 | 7,228 千円 | 6,972 千円 | 5,584 千円 |
| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） | |
| 1 | 水田農家の経営体質強化支援 | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> ・水田農家の経営確立に向け、白ネギ、ジューストマト等の高収益作物等の導入検討や、地域振興品目のPR活動等に補助金を支給 | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 補助件数5件、補助金額1,947千円 | |
| 2 | 水田農業の体質強化に係る推進 | 直接 | <ul style="list-style-type: none"> ・水田経営体の経営の複合化や、米の品質向上による稲作農家の経営確立を支援 | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 麦、大豆、そば等の転作拡大面積130ha | |
| 3 | 輸出用米の産地づくり支援 | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域農業再生協議会、農業者、輸出事業者が連携して輸出用米の産地づくりを図る地域に対して、輸出用米の取組拡大に係る取組に補助金を支給 | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 補助件数3件、補助金額305千円、取組拡大面積15ha | |